

報道関係者各位

2013年11月28日
日本アルコン株式会社

**日本アルコン、緑内障・高眼圧症治療剤
「アゾルガ®配合懸濁性点眼液」の販売開始**
～患者さんの点眼にかかる負担を軽減する新製品～

日本アルコン株式会社（本社：東京港区、代表取締役社長：松村誠一郎）は、緑内障・高眼圧症治療剤、「アゾルガ®配合懸濁性点眼液」（一般名：布林ゾラミド／チモールマレイン酸塩配合懸濁性点眼液）について、2013年11月19日より販売を開始いたしました。

緑内障治療の目標は視野障害進行を抑制することであり、治療の初期段階では点眼薬によって眼圧を下降させることが一般的です。通常1種類の点眼薬から治療を開始し、さらなる眼圧下降効果が必要な際には、点眼薬を変更するほか、複数の点眼薬を併用することもあります。眼圧下降効果を維持するには、毎日の点眼が不可欠となります。しかし、緑内障患者を対象にした調査において、治療を開始してから6か月以内に自ら点眼を中断してしまった患者さんは42%^{*1}にも上ります。また、点眼薬に求める項目として「点眼回数が少ない」という回答が最も多かった^{*2}ことから、患者さんにとって、「点眼回数」が重要な要素であることが明らかになっています。「アゾルガ®配合懸濁性点眼液」は、の炭酸脱水酵素阻害剤である布林ゾラミドとβ-遮断薬のチモールマレイン酸塩、2つの作用を配合した点眼薬です。患者さんにとって、使用する点眼の本数と回数が減少することは利便性の向上となり、負担が軽減できます。

また、点眼時の苦痛な点は「しみること」^{*2}との回答が最も多かったことから、治療継続には、「使用感」も非常に重要な要素であることがわかります。「アゾルガ®配合懸濁性点眼液」は、涙液に近い中性のpHを有する、しみにくい薬剤として点眼時の不快感を軽減させる効果が期待できます。

なお、新医薬品には処方日数制限^{*3}がありますが、「アゾルガ®配合懸濁性点眼液」は、2種類の既収載品と同様の効能・効果、用法・用量であることから、処方日数制限から除外されることが中央社会保険医療協議会にて了承されました。これにより発売開始時から、患者さんの受診間隔に応じた処方が可能です。

日本アルコン株式会社 代表取締役社長の松村誠一郎は、次のようにコメントしています。
「これまで多くの緑内障点眼薬、ならびに緑内障手術デバイスを販売してまいりましたが、『アゾルガ®配合懸濁性点眼液』が新たに製品ラインアップに加わることで、緑内障トータルケアカンパニーとして眼科医療にさらに貢献できるものと自負しております」

*1 株式会社日本医療データセンター 2010年10月

*2 生島徹, 他: 日眼会誌, 110(7): 497-503, 2006

*3 厚生労働省・中央社会保険医療協議会にて、「新医薬品については、薬価基準収載の翌月の初日から1年間は、原則1回14日分を限度として投与すること」と定められています

**炭酸脱水酵素阻害剤／β-遮断薬配合 緑内障・高眼圧症治療剤
「アゾルガ®配合懸濁性点眼液」について**

商品名:	アゾルガ®配合懸濁性点眼液
一般名:	布林ゾラミド／チモロールマレイン酸塩配合懸濁性点眼液
効能・効果:	次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合：緑内障、高眼圧症
用法・用量:	1回1滴、1日2回点眼する
包装:	5mL × 10本
薬価:	1mL 438.20円
承認取得日:	2013年9月20日
薬価収載日・発売日:	2013年11月19日
承認番号:	22500AMX01809000
製造販売元:	日本アルコン株式会社

緑内障について

目の中は「房水」という液体が循環することでほぼ一定の圧力が保たれ、正常な眼球の形が維持されています。この圧力を「眼圧」といいます。

一般的な緑内障は、この眼圧が高くなりすぎることによって視神経に障害が起こり、視野(見える範囲)が狭くなっていく病気です。視野が狭くなるペースが遅いため、初期の段階では、病気に気がつく人はほとんどいません。かなり病気が進行しているのに症状に気がつかないこともよくあります。何も治療をしないでいると、徐々に視野が欠けていって、日常生活に支障をきたします。

日本では40歳以上の約5%、つまり20人に1人が罹患し、その約90%が潜在患者であると報告されており*4、中途失明原因の第1位となっています*5。

日本アルコンについて

日本アルコン株式会社は、ノバルティスグループのアイケア事業部門を担うアルコンの日本法人です。アイケアにおけるリーディングカンパニーとして、サージカル製品から医薬品、ビジョンケア製品に至るまで、アイケア領域における幅広い製品を提供しています。

世界に24,000人のスタッフを有するアルコンは、米国テキサス州フォートワースに本拠を置き、世界75カ国で事業を展開、180カ国の市場へ製品を提供しています。アイケアにおけるグローバルリーダーとして、よりよい視界の提供を通じて、人々の生活の改善に寄与することを使命としています。眼疾患などに対する革新的な治療法を開発するため、アルコンでは今後5年間で50億米ドルを研究開発に投資していきます。

2012年度、アルコンの世界における売上高(試算値)はおよそ102億米ドルでした。詳細はwww.alcon.co.jpをご覧ください。

###

お問い合わせ

日本アルコン株式会社
コミュニケーショングループ 柏／本多／高植
03-3588-3218
jp.communication@alcon.com

*4 緑内障診療ガイドライン(第3版)より

*5 日本眼科啓発会議ホームページより